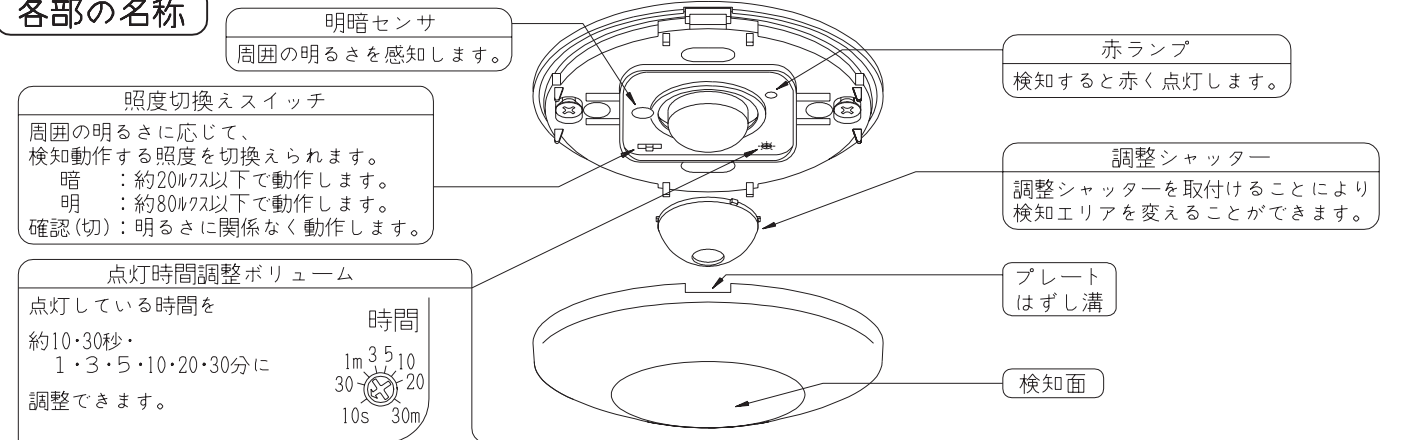


# JIMBO 感熱センサスイッチ 軒下用 HST-30 取扱説明書

このたびは JIMBO の感熱センサスイッチをお買い上げいただきありがとうございます。  
 ・正しく施工していただくために、はじめに施工上のご注意をよくお読みください。  
 ・感熱センサスイッチを正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
 お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

●人の動きを検知して、自動的に照明等を「ON」にし、人の動きがなくなると、自動的に遅れて「OFF」になります。

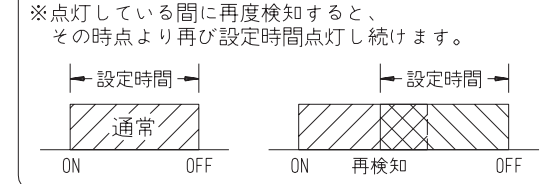
## 各部の名称



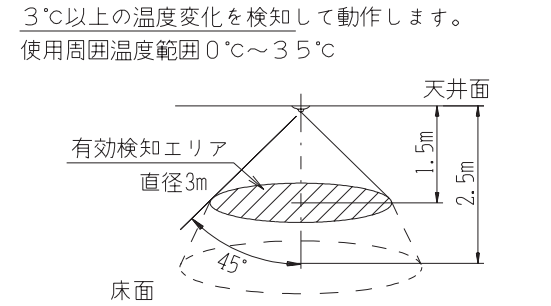
**照度切換えスイッチ**  
 周囲の明るさに応じて、検知動作する照度を切換えられます。  
 暗：約20ルクス以下で動作します。  
 明：約80ルクス以下で動作します。  
 確認(切)：明るさに関係なく動作します。

**点灯時間調整ボリューム**  
 点灯している時間を調整できます。  
 約10・30秒・1・3・5・10・20・30分に調整できます。

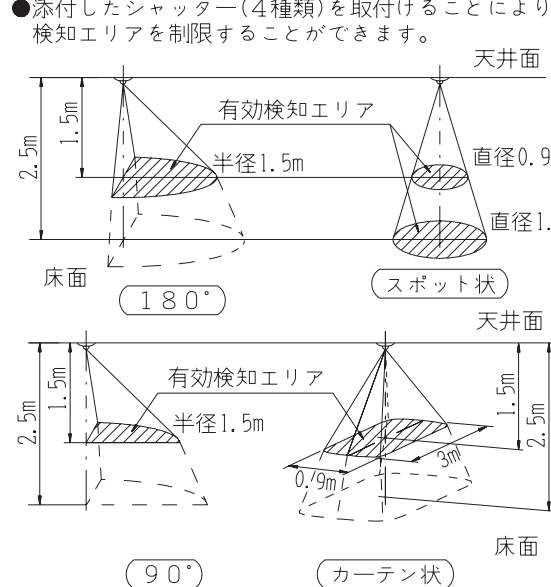
※ボリュームは目盛の位置に合わせてください。上記の目盛値以外(途中の設定時間)にはなりません。  
 例) 3分と5分の間に調整しても4分ではなく、3分と5分のどちらかとなります。



## 検知エリア



## 検知エリアの設定例



## 手動によるON・OFF操作

別売のロータリースwitch「WJH01620PW」との組合わせて、手動で「連続 自動 切」の操作をおこなえます。



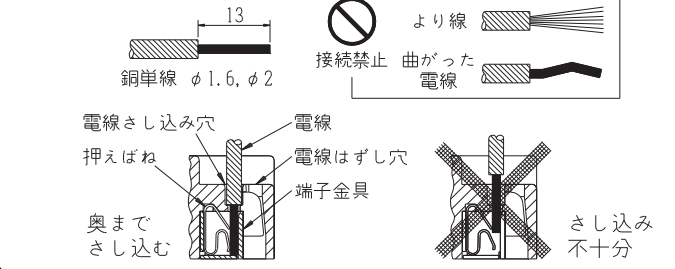
## 取付場所・取扱上のご注意

- 注意 蛍光灯は、頻りに点灯/消灯を繰り返すとランプ寿命が短くなります。「グロー式・元'ott式・電球形インバー式・コンパクト形インバー式」の蛍光灯は、ランプ寿命が極端に短くなるものがあります。  
 ※ただし高頻度点滅可能な蛍光灯は除く
- 頻りに点灯/消灯するところでは、白熱灯をご使用ください。さらに、蛍光灯ご使用の際は点灯/消灯の頻度が少なくなるように、照度切換えスイッチを「暗」、点灯時間調整ボリュームを長め(20分以上)に設定してください。
  - 人が動いたときの温度の変化をセンサで検知して動作するので、急激な温度変化のある次のような場所には取付けないでください。又、使用中には急激な温度変化のあるものを検知エリア内に置かないでください。
  - エアコン等冷暖房器具やコンロ等調理器具の近く、及び温風・湯気の当たる場所。
  - 白熱灯や照明器具が近くにある場所。(器具から50cm以内の場所)
  - 反射による間接光の当たる場所。(反射の強い床のある場所)
  - 揺れるものや動くものが置かれている場所。(揺れるカーテン・木の葉等の影響で)
  - ヘッドライトの光が当たる場所。
- 強力な無線等の電気雑音が入ると動作してしまう場合がありますので、無線による電話機等はできるだけ離してください。
- 軒下用(HST-30)は、屋側、雨の当たる場所には取付けないでください。
- 遮蔽物(透明ガラスも)があると、隠れた人は検知できません。
- 3m以内の高さに取付けてください。
- 人がとまった状態にいると、センサが検知できないので、照明がきえてしまう場合がありますが故障ではありません。
- 真夏の日中など、人体と周囲温度との差が3℃以内の場合は、人が通っても検知しない場合がありますが、故障ではありません。
- 停電等がおき、ブレーカーの電源を投入した場合、感熱センサの初期状態のため約40秒間、不安定動作いたします。その後、検知できる正常状態になります。異常ではありません。
- 
- 検知面が汚れますと、検知能力が低下します。汚れた場合は、化学ぞうきん、シンナー、洗剤などを使わないでください。やわらかい布でふき取ってください。

**警告** ●安全のため電熱器具への接続はしないでください。  
 ●負荷容量を越えて使用しないでください。器具の温度が上昇して、焼損や火災の原因となります。

## 警告 結線方法

- 電線はφ1.6、φ2の銅単線をご使用ください。
- 電線は、器具裏面のストリップゲージに合わせて電線を皮むきし、電線に曲がりがあれば直してください。
- 電線を、電線さし込み穴へ、皮をむいた心線が見えなくなるまで十分にさし込んでください。



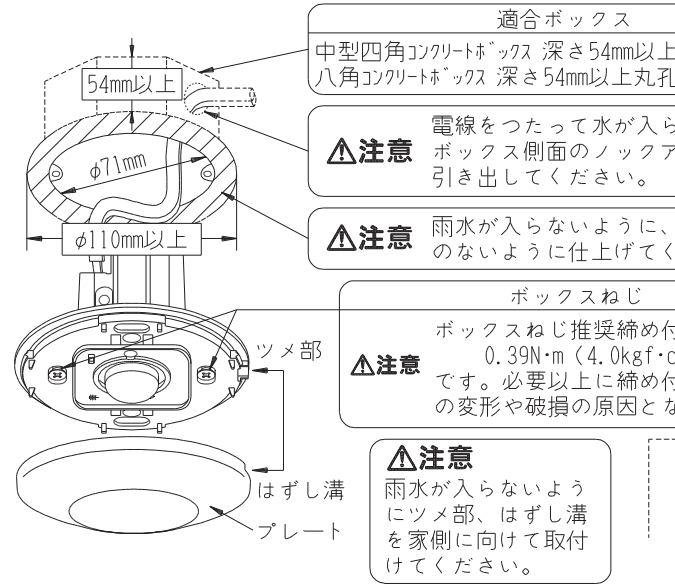
## 施工上のご注意

- AC100V以外では使用しないでください。焼損や火災の原因になります。
- 誤結線や負荷側を短絡されると過電流により内部部品が破損し、使用不能となります。
- メガテスターをする場合は、器具を回路より外して行ってください。※電線(回路)と大地間を測定する場合も、器具を回路より外して行ってください。
- 電源を投入した場合、感熱センサの初期動作のため、約40秒間、不安定動作をいたします。その後、検知できる正常状態になります。異常ではありません。

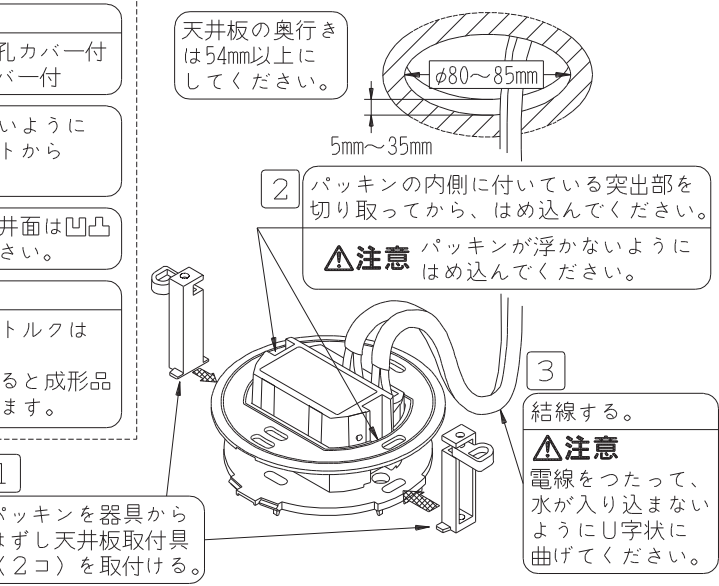
## 電線のはずし方

- 電源回路を切ってから実施してください。
- ドライバーを電線はずし穴に差し込んで押しながら、電線を引いてください。

## 取付方法



## ボックスレス工事の場合

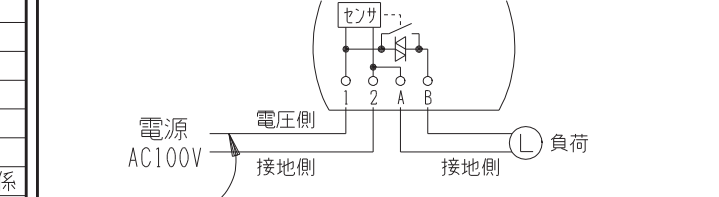


## 仕様

※軒下用(HST-30)は子器を接続できません。

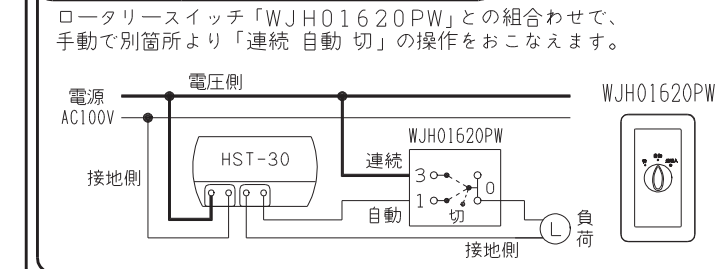
製品番号	HST-30					
定格	2A-100VAC 50/60Hz					
OFF時の消費電力	約0.2W (ON時の消費電力:約0.8W)					
配線方式	4線式					
設置場所	雨線内(軒下用)					
照度機能	明るさセンサ付き					
動作照度	暗:約20ルクス,明:約80ルクス,確認(切):明るさ無関係					
動作保持時間	約10,30秒,1,3,5,10,20,30分					
出力方式	投入・遮断時:トリアック制御出力 通電時:有電圧リレー接点出力					
適合負荷	[ 負荷容量 および 接続灯数 ]					
白熱灯	2~200W	1灯あたり100W以下				
換気扇	2~100W					
蛍光灯	10W	20W	30W	40W	110W	
グロー式 低力率	2~100W	8	5	3	2	—
電子スタート式 高力率	2~120W	—	6	4	3	—
元'ott式 高力率	2~160W	—	6	—	4	1
インバータ蛍光灯	10W	20W	30W	40W	55W	110W
	2~110W	9	5	3	2	1
	8~15W	~25W				
電球形蛍光灯	2~100W	6	4			

## 配線図



センサスイッチの電源線には片切スイッチ等を配線しないでください。電源投入時には、感熱センサの初期状態のため、約40秒間不安定動作いたします。

## 操作ユニットとの組合わせ



- 白熱灯は1灯あたり100W以下でご使用ください。(電球の球切れ時、大電流が流れ内部部品が破損する原因となります。)
- HIDランプ(高輝度放電ランプ)には使用できません。
- 電子回路内蔵の特殊照明器具には使用できません。(遅延タイム・調光機能・壁スイッチの短時間ON/OFF操作による点灯状態切替機能・リモコン機能等内蔵の照明器具)
- 上記適合負荷の容量および接続灯数はおよその目安です。